



図書だより 冬休み号

平成30年12月21日
開南幼稚園 永森 加奈

楽しい冬休みを

楽しいことがたくさんある冬休みを前に、心わくわくの子どもたちです。先週からクリスマスの絵本を選ぶ子がたくさんいました。クリスマスはただ単に“プレゼントをもらう日”ではなく、キリスト様のお誕生をお祝いする日。そして、“世界中が平和で、すべての人に幸せが与えられますように”という意味もあることも知ってほしいと思います。明日は“冬至”です。年末年始は、習慣や風習など子どもたちに伝えたいことがたくさんありますね。絵本を利用してご家庭でも話題にしてください。冬休みならではの経験をたくさんして、元気に新学期を迎えられますように。



ぱれっとさん おたのしみかい

プログラム

「クリスマス」	手遊び
「まどから★おくりもの」	大型絵本
「ぐりとぐらのおきゃくさま」	人形劇

4日(火)「ぱれっとさんのおたのしみ会」がありました。

♪い〜ちと い〜ちを あわせると……「クリスマス」の手遊びは、前もって“ぱれっとさんのちいさなおはなし会”でやっていただいたお陰で、子どもたちはよく覚えていて楽しくできました。「まどからおくりもの」は、サンタさんがプレゼントを配る仕掛け絵本でのお話です。窓から部屋の中で寝ている動物と一緒に想像している様子でした。「ぐりとぐらのおきゃくさま」は、冬の装いのぐりとぐらが登場。ちょこちょことした動きは本当に生きているようで、鉄琴の音色がお話を盛り上げてくれました。そして、白いひげのおじいさんが、めがねをはずした園長先生とわかると子どもたちはなんとなくザワザワ(もっと驚くと思ったのですが……)。お話に引き込まれ真剣に見ている子どもたち、絵本とは違う楽しさを味わえたようでした。

クリスマスにぴったりのプログラムで、絵本はその後の貸出しで大人気でした。ぱれっとさんの活動がきっかけとなって、子どもたちが絵本にさらに興味を持って、あそびの発展につながることを願っています。メンバーの小平さん・構さん・佐藤さん・鈴木さん(ぞう)・寺田さん(ひつじ)、西條さん(りす)、小河原さん(卒園)そしてスペシャルゲストの園長先生、楽しい時間をありがとうございました。



冬休みの貸出し

本日、**2冊**貸し出しいたしました。
お家でお子さんと一緒に読んで
楽しい時間をお過ごしください

返却 1/11 (金)

始業式に忘れずに返却お願いします
“約束を守ることを意識する”ということも
子どもの成長過程で大切なことです

自分で準備ができるよう

お子さんに声掛けをしてください

「わにわに・・・」の秘話

「わにわに」シリーズの作者、山口マオさんの講演会に行ってきました。物静かだけれども時折ユーモアを交えて話す山口さん、“わにわに”に似てるといわれるそうです。絵本作家になるまでの経緯や、「わにわに」誕生に至るまでのこと、絵に隠されている遊び心と秘密などのお話はたいへんおもしろく、あっという間の時間でした。福音館の月刊配布絵本は文章を1年くらいかけてきっちりつめ、最低3年はかけて作られるそうです。小風さちさんが実際にワニ園に行って生態をかなり詳しく調べ、小さな子どもでもわかるような文を必要最小限に抑えて書き、山口さんが絵(版画)を付けてできたのが「わにわにのおふろ」で、子どもが楽しくお風呂に入れるよう描いた絵本です。他の“わにわに”についてもエピソードがたくさんで、また手にとって子どもたちと一緒に読みたくなりました。



あのね……

子どもは、見たものを言葉にするのに、頭の中の知識を総動員して発してくれます。覚えてたの言葉を一生懸命使ったり、詩人のようになったり……そのような言葉は、記録に残しておきたいですね。図書室に先生たちの心にとまった子どもたちの楽しい言葉が貼ってあります。ご家庭でも感性豊かな子どもの言葉に耳を傾けてみてください。